

著者別総目次 (創刊号より第五号まで)

縦組みと横組みは別にまとめてある。

* 第三号編集後記参照のこと。なお、号数の記載のないものは札幌大学紀要・教養部論集、記載の号数は札幌大学教養部女子短期大学部紀要の号数を示している。

	号	頁		号	頁
伊賀上正俊	古今集における誹諧歌の位相	一三七	木村真佐幸	鷗外の歴史小説試論 (二)	三・ 九
"	中世の心 —— 西行の場合 ——	三・ 二一	"	—— 「興津」改作の背景 ——	
石附喜三男	擦文式土器の初現的形態に関する研究	一	"	鷗外の歴史小説試論 (三)	四・ 一三
内田 実	饗庭野の土地利用と入会の関係	四七	"	—— 初稿「興津」から改稿「興津」へ ——	
梅原達治	北海道の相馬神社	四・ 二一	坂本元太郎	再び「詞に属する敬語と敬意との かわり合い」をめぐって	一・ 一二九
大森郁之助	—— 北海道の神社の人類学的研究 (一) ——		"	—— いわゆる「素材間の関係を規定する敬語」に おける表現主体の敬意の考察と「謙讓語」に おける「謙讓」と「受手尊敬」との区別につ いて ——	
"	「たけ高き女」の種姓	二二一	"	連体格助詞「の」の周辺	二・ 二一
"	—— 堀辰雄の「かげろふの日記」における自己限定 ——		"	—— 「体言」の「連体形」の構文における「の」 の問題点 ——	
"	信濃へ往く孀	一・ 一七七	"	現代敬語における敬意の再解釈	三・ 三三
"	—— 堀辰雄の方法についての序章 ——		"	—— 時枝説と下位者への敬語使用をめぐって ——	
"	初期堀辰雄文学の低音部	二・ 一	佐々木清明	ハーディの自然 —— 「帰郷」を中心に ——	二・ 五九
"	—— 「末摘花」をめぐって ——		野毛孝彦	芭蕉における風狂の精神 (その一・その二)	一・ 一五七
"	「風立ちぬ」の構成的性格	三・ 一	"	心敬、その連歌論と無常について	一・ 一四三
"	—— 作中作の設定をめぐって ——		前田利雄	イアゴウの性質 —— 嫉妬とひび性 ——	二・ 八一
"	「橋の手前」の資質	四・ 一	宮良高弘	「黒マタ・白マタ・赤マタ」の祭祀	八五
"	—— 芹沢光治良論の基点として ——		渡辺昭五	—— 西表島・古見部落の豊年祭 ——	
"	「離愁」における保身の構造	五・ 一	"	鳥の田植民俗と「田植草紙」の朝哥	一・ 一〇五
"	—— 芹沢文学の倫理性の発想法 ——		"	物ぐさ太郎の種姓	一・ 一五七
木村真佐幸	一葉文学における近代的自我の問題	一九一	石附喜三男	“江別式土器”の終末年代と 所謂“北大式土器” (一)	号 頁 5— 33
"	—— 「にこりえ」・「十三夜」を中心に —— (その一)	二・ 一一	梅原達治	新世界のパンナツアルについて	2— 51
"	鷗外の歴史小説試論		"	北海道の神社の人類学的研究 (1)	3— 23
"	—— その転機の一側面 —— (二)				

太田 恭子	女性の健康生活について ——運動経験の有無とその関係——	2— 31
大橋 英寿	W. I. タマスの社会心理学 ——その領域規定と方法論——	1— 41
小原 慎一	スベインの古写本にみられるビウエーラに 関する考察	1— 75
"	音楽の美 (形式の1)	4— 1
Obara, Shin'ichi	La Vihuela de Mano y Sus Descendientes	2— 1
金 巻 賢 字	人間未来学の初想 ——試論三章——	1— 3
金 丸 弘 幸	プラメルドにおける教育的価値論 教育に於ける美的価値論 ——ハーバート・リードの芸術教育論をめぐって——	1— 25 2— 43
久保田敏夫	平行棒運動における技術分析 ——棒下振出し腕支持について (その一) ——	5— 25
倉 島 武 徳	幼児の運動能力と環境条件について	3— 9
"	バスケットボール選手の性格特性と ゲームにおける特徴について	5— 15
小 泉 義 男	Samson Agonistes に於けるミルトンの立場 ——その非キリスト教的なものについて——	153
小副川 明	Gérard de Nerval: <i>Ariénis</i> についての覚書	57
柴田 勘・富田友治・太田恭子・奥村 博・倉島武徳	昭和42年度札幌大学学生の体格・体力および 運動能についての調査研究 (第1報)	1—105
柴田 勘・富田友治・太田恭子・奥村 博・倉島武徳・ 久保田敏夫	札幌大学学生の体格・体力についての 調査研究 (第2報) ——現状把握と推移について——	4— 17
園 法子	グリム兄弟の周辺 (1)	131

園 冬 晴	トロバードル管見 I Guillaume IX	91
-------	----------------------------	----

高 田 春 夫	北海道のシムウジ ヌウバエ ——その分類と生態——	2— 15
---------	------------------------------	-------

Takada, Haruo	Drosophila Survey of Hokkaido, XXVI. Descriptions of Three New Species of Drosophilidae from Japan.	1—119
---------------	---	-------

Takada, Haruo and Masanori J. Toda	Drosophila Survey of Hokkaido XXIX. On <i>Amiua trochlea</i> Sp. nov. (Drosophilidae) with Supplementary notes on Diastatidae from Japan	5— 1
------------------------------------	---	------

富田 友治	円盤投の研究	1— 95
-------	--------	-------

西 島 民 雄	数学教育への提案	1— 87
---------	----------	-------

山 川 義 夫	藤島武二論	1
---------	-------	---

"	美に於ける東と西	1— 59
---	----------	-------

和 田 昭 夫	一次元 RC 回路網による地温の解析 ニエートソンのクーリソングの式の検討及び1 m 深 地温分布の図式解法と川湯地域への適用	2— 7 3— 1
---------	---	--------------

"	法則及びその地球への適用に対する考察	4— 15
---	--------------------	-------

"	地表面からの冷却について	5— 5
---	--------------	------

"	報告：氷の結晶に於る混入粘土の分布 報告：凍土の顕微鏡写真観察	4— 29 5— 45
---	------------------------------------	----------------